

No. 66

Maple News

メイプルニュース



山梨英和学院 2025年度聖句

—あなたがたに平和があるように。

父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。—

ヨハネによる福音書20章21節

Contents

理事長・学長・園長就任の挨拶	2・3
Maple Communication	4~9
大学、中学校・高等学校、認定こども園	
同窓会通信	10
聖書のこぼれ／山梨英和の歴史を築いた人々	11

メイプルカレッジの紹介	12
諸報	13
topics／人事／2025年度役員名簿／主な行事予定	
「山梨英和旧宣教師館」未来プロジェクト	14・15



理事長就任挨拶

「変革と進化」を目指す

山梨英和学院 理事長

江口 英雄

昭和43年4月に医師となり、横浜市立大学医学部第2外科、山梨医科大学第1外科で教員として教育・診療・研究に勤しみ、その後上野原町立病院・大月市立中央病院・富士吉田市立病院の院長を務めました。平成21年3月第2代上野原市長に就任、3期12年上野原市政に携わってきました。

そして昨年4月に山梨英和学院の理事を仰せつかり、今年2月27日の臨時理事会で急遽理事長を拝命いたしました。正直申しまして、責任の重さに大きな緊張と覚悟を持って日々を過ごしています。

本日は、本学院の広報誌「メイプルニュース」をご高覧賜り、誠にありがとうございます。本誌は、学院における日々の教育、研究活動、学びの成果、地域連携事業、さらには卒業生の活躍などを広く紹介し、山梨英和学院の“いま”を皆さまと共有することを目的としております。

本学院は、建学の精神として掲げる「敬神・愛人・自修」の理念を礎に、時代の要請に応じた人材の育成に努めてまいりました。教育の本質とは、知識や技能の習得にとどまらず、豊かな人間性と社会的責任感を育むことにあります。私たちは、学生・生徒・園児一人ひとりの個性と可能性を最大限に引き出す教育環境の整備に力を注ぎ、次代を担う人材の輩出に誇りと責任をもって取り組んでおります。

とりわけ現代社会は、急速な技術革新や国際化、多様な価値観の共存といった複雑な変化のただ中にあります。このような時代において必要とされるのは、知識を生かす力、他者と協働する力、そして変化を恐れず挑戦する精神です。本学院では、こうした力を育むため、アクティブラーニングや課題解決型学習、地域との連携による実践的な教育プログラムを積極的に導入しております。

また、近年関心が持たれている「DEI」を導入・推進していきたいと考えています。「DEI」とは、Diversity（多様性）、Equity（公平性）、Inclusion（包括性）の頭文字を組み合わせた言葉で、組織や社会における多様な人材

が尊重され、公平な機会が与えられ、誰もが受け入れられる状態を目指す概念です。**Diversity(ダイバーシティ、多様性)**：年齢、性別、人種、宗教、障がいの有無、性的指向、価値観など、様々な違いを持つ人々が存在することを指します。**Equity (エクイティ、公平性)**：多様な人材が能力を最大限に発揮できるよう、個々の状況に合わせて機会や資源を提供し、公平性を確保することを意味します。**Inclusion (インクルージョン、包括性)**：多様な人材が組織の一員として尊重され、貢献できていると感じられる状態を指します。

そしてそれぞれの要素が相互に影響しあい、より包括的で公平な環境を構築することを目指します。本学院においても「DEI」の推進は多様な視点やアイデアが生まれやすくなり、イノベーションを促進するだけでなく、教職員のエンゲージメント向上や優秀な人材の獲得・定着にもつながるものと期待します。

さらに、山梨という豊かな自然と文化に恵まれた地に根ざす教育機関として、地域社会との共生を重要な使命と捉えております。地域の皆さまとの協働を通じ、実社会の課題に触れ、自らに成長と地域貢献の意義を体感する機会を数多く提供しております。これらの取り組みは、単に学びの場を超え、未来の社会づくりへの一翼を担うものであると確信しております。

この「メイプルニュース」が、皆様と本学院との新たな出会いと理解を深める一助となりますようお願いいたします。そして今後とも、皆様からのご指導とご鞭撻を賜りながら、山梨英和学院はさらなる飛躍を目指してまいります。

末筆ながら、皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。



学長就任挨拶

地域と、世界をつなげる 「楽しい大学」を創造する

山梨英和大学 学長

塚本俊也

私は、創立 136 年を迎えた山梨県内唯一のキリスト学校の校訓「敬神・愛人・自修」を精神的な柱とし、キリスト教の信仰に基づく教育を実践していきたいと考えています。本学の強みである文理融合型のカリキュラムから学生たちの可能性を広げ、地域やグローバル社会における課題の解決に取り組む人材の育成を行いたいと思っています。SDGs にも積極的に取り組みたいと考えています。

私はこれまでに牧師として教会に仕え、不登校や家庭内暴力に悩む子どもたちと向き合ってきました。また国際 NGO の働きにおいては、学生と共に、東南アジアで

学校建設や井戸掘りなどの活動を行いました。その後、紛争や災害後の緊急支援、危機管理や人道支援の現場で活動してきました。これらの経験のすべてを今後は山梨英和大学に捧げ、そして、この山梨の地に捧げ、多様で複雑な現代社会を力強く生き抜くことができ、災害やパンデミックなどに強い、危機管理意識や防災対策能力を備えた“動ける人材”を育成したいと考えています。細やかなグローバル教育から学生の国際感覚が養われ、人間の尊厳、人権が守られる大学—「楽しい大学」を学生・教職員、山梨英和に連なる皆さんとともに創造していきたいと思えます。



園長就任挨拶

“You are Special.”

山梨英和認定こども園 園長

三井貴子

山梨英和に属する3つの認定こども園（カートメルこども園・ダグラスこども園・プレストンこども園）に今年の4月から奉職しています。0～6歳の子どもたちが、毎日の礼拝を通して賛美し、聖書の御言葉を聞き心を耕しています。聖書に「あなたの若い日にあなたの造り主を覚えよ」（コヘレトの言葉 12章1節）とありますが、このように幼い時期から神様を身近に感じることができるとは本当に尊いことだと日々感じています。

アメリカ人の牧師、マックス・ルケードが描いた絵本“*You are Special*”は人間の根本的な弱さを私たちに気付かせてくれます。創り主エリがダメ印シールを身体中に貼り付けられたパンチネ口に語りかけます。「みんながど

う思うかなんて、大したことじゃないんだ。問題は、私がどう思っているかということだよ。私は、お前のことをとても大切だと思っている」パンチネ口は笑ってしまいます。「ダメ印だらけの僕が大切？」エリは答えます。「お前が私の愛を信じたなら、シールなんてどうでもよくなるんだよ」

これは、大人の心をも貫通する鋭いメッセージです。神様は私たち一人ひとりに“*You are Special.*”と語りかけています。大切なものを見失うことがないように、子どもたちと共に歩んでいきたいと思えます。

大学案内2026に掲載

新学長インタビュー



地域と、世界とつながる

「楽しい大学」を創造する

山梨英和大学 学長

つかもと としや
塚本 俊也

Stefano Toshiya Tsukamoto

「楽しい大学」とは何か?——

学生たちが活発に活動し、地域社会と、

そして世界と共鳴する大学とは?

塚本学長が目指す、新たな山梨英和大学の姿に迫ります。

■これまでの経歴と学長としての在り方

学生との「接点」を求めて

「学生との接点があってこそ、私の経験が生かされる」

そう語る塚本学長は、牧師、国際 NGO の日本支部長、大学教授など、多彩なキャリアを歩んできました。

「教会では、不登校や家庭内暴力に悩む子どもたちと向き合い、コミュニケーションを深めてきました。国際 NGO では、1600 人ほどの高校生・大学生と共に、東南アジアで学校建設や井戸掘りなどの活動を行いました。その後、母子保健の分野にも携わり、危機管理や人道支援の道を本格的に歩み始めました。」

様々な経験を経て、山梨英和大学の学長に就任しました。

「学長といえども、私は現場の人間ですので、研究活動も継続し、学生との接点を大切にしたい。今までやってきたことの集大成として、私の経験の全てを大学に捧げ、そしてこの地に捧げたいと思っています。」

■教育についての目標

地域とつながり、地域に求められる人材育成

「山梨県の地域に根差した教育を行いたい」

塚本学長は、地域社会との連携を強く意識しています。

「これから先、地方は注目されていくでしょう。山梨英和大学の学生は、地元就職率が7~8割と高い。だからこそ、地方における山梨県の位置づけを学問として学んでほしい。地元企業の現状や問題点を学生が主体となって調査などができる環境を整えたいと思います。また、多様で複雑な現代社会を力強く生き抜くことができる、災害やパンデミックなどに強い、危機管理意識や防災対策能力を備えた“動ける人材”を育成したい。加えて、人権問題やハラスメントに関しては、教職員ならびに、学生向けにも学ぶ機会が必要だと考えています。人権意識を高め、人間の尊厳が尊ばれる大学にしたいと思っています。」

■山梨英和大学の独自性と今後の展望

強みを伸ばし、新たな価値を創造する

「山梨県唯一のミッションスクールであること」

塚本学長は、この独自性を大切にしています。

「山梨英和学院としては135年以上の歴史があり、県内唯一のミッションスクールとして、多くの方々の祈りに支えられてきました。そのキリスト教教育を学べる場として多くの若者たちと共に分かち合いたいと思っています。山梨英和の「敬神・愛人・自修」(神さまを敬い、隣人を愛し、自分を高める)という本学の校訓を精神的な支柱とし、キリスト教的な考え方を伝えていきたいと思えます。また、文理融合型のカリキュラムも、本学の大きな強みです。心理、言語・文化、情報を融合させた学びは、学生たちの可能性を広げます。さらにSDGsへの取り組みを学び、地方創世の中で地元やグローバル社会における課題を見つけ、それらの課題解決に取り組む人材の育成を行いたいと思えます。」

また、グローバルプログラムの展開も視野に入れていきます。

「規模の小さい大学だからこそ、きめ細やかなグローバル教育が可能です。私が来たということはグローバルな教育が求められているのだと考えています。留学生との交流や英語での講義など、様々な取り組みを通して、学生たちの国際感覚を養いたい。学生たちには、ぜひ高い英語力を身につけてほしい。」

さらに、外国人留学生の受け入れ強化にも力を入れます。英語をはじめ、外国語での授業や海外の大学とオンラインでつないだ交流授業も2026年度から検討します。

「日本語教育をより充実させることで、留学生が日本文化を理解し、安心して学べる環境を整備したい。将来的に留学生割合を30%まで引き上げ、多様性あふれるキャンパスを目指します。」



■大学が学生たちにできること

可能性の「入り口」を増やす

「学生たちが主体的に活動できる場を提供したい」

塚本学長は、学生たちの主体性を尊重します。

「前任の大学で実施した東北での支援活動で、学生たちが自ら考え、行動する姿に感銘を受けました。山梨英和大学のチャペルセンターでのボランティア活動も、学生たちの自主性を育む場となっています。学生たちがやりたいことに取り組むための様々な“入り口”を用意し、実現する機会を創りたい。私の経験を、そのために役立てます。」

■学長として目指す新たな大学像

「楽しい大学」を創造する

「学生たちが『楽しかった』と思える大学にしたい」

塚本学長は、学生たちの満足度を重視します。

「ボーイスカウトでの経験から、子どもたちに何かを提供するだけでは子どもたちは決して満足しないこと。リーダー(指導者たち)が楽しむ姿が、子どもたちを惹きつけることを学びました。教職員が一丸となって楽しく学生たちを導くことで初めて、学生たちも楽しいと思える大学を創ることができると考えています。学修の面では、この大学で社会に出る準備をしてもらえるようなカリキュラムができていますので、ぜひ信頼して学んでもらいたいと思います。また、大学での学び以外では、クラブ・サークル活動、社会活動、ボランティアなど、学生たちが何をしたいのかに耳を傾け、大学を活性化させていきたい。社会と接点を持つことは学生にとって貴重な経験ができる機会となるので、その場を提供していきます。」

■学生へのメッセージ

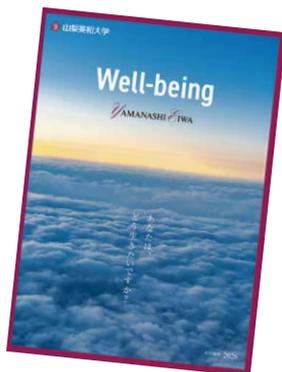
地方から世界へ…

「山梨県や地方を愛する学生たちに集まってほしい。そして地方から世界へ向けて、共に発信していこう！」

塚本学長は、学生たちにこのような熱いメッセージを送ります。

豊富な経験と情熱、そして学生たちへの熱い想いが、山梨英和大学を新たなステージへと導きます。

大学案内 2026 はこちらから
読むことができます！



Message メッセージ

Encourage the people

Inquire what God wants me to do

Work for peace and Social Issues

Attempt to make fellowship with all over the world

人々を励ます。

神が私に何を望んでおられるかを探す。

平和と社会問題のために働く。

世界中の人々と親交を結ぶよう試みる。

縦読みで EIWA です。



Profile

1958年 京都市生まれ 66歳

■専門

リスク・マネジメント / 外国人防災対策 / 感染症危機管理 / 人道支援 / 紛争分析 など

■主な学歴

タイ国立マヒドン大学大学院健康社会科学部 修士課程修了 (HIV/AIDS 予防教育)

■主な職歴

セブンスデー・アドベンチスト (SDA) 教団 (プロテスタント) 牧師
SDA 原宿ユースセンター主事として青少年伝道に従事
国際 NGO「ADRA Japan (アドラ・ジャパン)」日本支部長
国際 NGO「Habitat for Humanity Japan (ハビタット・フォー・ヒューマニティ)」事務局長

■主な活動

・貧困・麻薬中毒対策 (ベトナム)、麻薬中毒リハビリテーション建設 (1986 - 88)
・母子保健プロジェクト (ネパール)、学校・ヘルスポスト建築 (1991 - 94)
・阪神大震災で兵庫区ボランティア支援対策に従事 (1995) *東京から約 450 名のボランティアを派遣
・サハラ大震災、救援物資配布プロジェクト (1995)
・紛争後の緊急支援・食糧支援、学校建設: ルワンダ (1996 - 97)
・紛争後の緊急支援、復興開発: コソボ (1998 - 2000)
・「UNICEF (ユニセフ)」地雷予防教育
・「WHO (世界保健機構)」移動クリニック
・「UNMIK (国際連合コソボ暫定行政ミッション)」・「UNDP (国際連合開発計画)」救援物資配布 (マケドニア)
・越冬支援プロジェクト・住居のリハビリテーション
・「UNMIK (国際連合コソボ暫定行政ミッション)」学校再建プロジェクト
・紛争後の緊急支援・復興開発: 東ティモール (1999-2004)
・「UNDP (国際連合開発計画)」公営マーケット復興支援 (JICA) 地方自治体の行政指導者育成支援

■大学関係の経歴

・東京外国語大学大学院 Peace and Conflict Studies 客員教授 (紛争分析、危機管理、他)
・青山学院大学大学院 Global Expert Program 教授
(国際協力論、人道支援と危機管理、大学生のリスク・マネジメント、他)
・大阪大学大学院未来共生プログラム特任教授 (多文化共生、在留外国人の災害防災対策、危機管理学)
・危機管理カレッジ (大学向け危機管理 e ラーニング・プログラム) を開発 (© 大阪大学) <https://www.osaka-u-rmc.jp/> グローバル活動における危機管理研修、グローバル活動に携わる教職員向け危機管理研修、海外留学生・外国人労働者向け研修)
・インドネシア国立・ガジャマダ大学大学院客員教授 (Management & Humanitarian Actions)
・長崎大学大学院生命医科学域リーディング大学院講師 (感染症危機管理学) など

グローバル・リベラルアーツ

山梨英和の新しい教育方針

Global Liberal Arts

山梨英和は、キリスト教信仰に基づく人格教育を重視し、「グローバル・リベラルアーツ」教育を推進しています。



- 総合的な学び：リベラルアーツ教育**
知識習得だけでなく、論理的・批判的思考力や創造力を育成します。探究的学び、「てつがく対話」などを通じて主体的に考える力を養います。
- グローバル視点での学び**
地球的視野と国際感覚を育む「地球市民教育」を展開し、多文化共生や国際交流を促進します。英語教育を強化し、実践的な国際感覚を身につけます。
- 挑戦力とレジリエンスの育成**
失敗を成長の機会と捉え、粘り強く挑戦する力を育成します。困難を乗り越える力(grit <やり抜く力>)を養い、変化の激しいグローバル社会を生き抜く力を養います。
- 女子教育の視点：リーダーシップと自己肯定感**
女性が自己肯定感や自己管理能力を高め、自信を持って社会で活躍できる力を育てます。女性がリーダーシップを発揮できるよう、目標を設定し計画的に努力する力を養います。
- 情報リテラシーと創造的思考力**
知識を駆使して情報を分析し、的確に解釈する力を高め、課題解決のための創造的なアイデアを生み出す創造的思考力を養います。

ラーニング・コモンズ

生徒が自由に利用できる

Learning

ICTや図書などを活用して、自由に学んだり、成果を発表できる新たな「学びの場」が誕生します。



メインホール



リーディングエリア 1F



リーディングエリア 2F

2025年度 入試合格者数

【国公立大学】

信州	1
山梨	2
山梨県立	2
都留文科	1
琉球	1
合計	7

【私立大学】

山梨英和	7	日本歯科	1	実践女子	5	東京女子医科	1
国際基督教	2	成蹊	2	昭和女子	1	東京農業	1
法政	2	麻布	1	女子栄養	1	東洋英和女学院	1
立教	3	東海	2	女子美術	1	東洋学園	1
青山学院	3	日本	2	聖心女子	1	獨協	2
関東学院	1	桜美林	2	清泉	2	奈良	2
北里	2	大妻女子	7	清泉女子	1	日本医療科学	1
津田塾	6	神奈川	2	大東文化	2	フェリス学院	2
星薬科	1	神奈川工	2	玉川	3	武蔵野	4
東京薬科	4	岐阜医療科学	1	多摩美術	3	高千穂	1
明治薬科	1	京都女子	1	つくば国際	2	嘉悦	1
城西	1	共立女子	1	帝京科学	2	山梨学院	1
帝京	1	杏林	1	東京音楽	1	相模女子	1
東京女子	3	健康科学	4	東京家政	3	静岡英和学院	2
日本女子	1	神戸女学院	1	千葉工業	2	静岡福祉	2
明治学院	2	国立音楽	1	東京工科	1	合計	124

【私立短期大学】

山野美容芸術	1
帝京学園	1
合計	2

【専門・各種学校】

日本外国語	1
ヴィーナズアカデミー	1
長野ビジネスイノベーション	1
合計	3

【専門職大学】

国際ファッション	2
合計	2

【海外進学】

Newcastle University	1
合計	1

2025年度 入試合格者数

【通信制課程】

【私立大学】

山梨英和	4	昭和女子	1
大妻女子	1	神戸女学院	1
実践女子	1		

教育スタイルを始めます!

学びのスペースを新設

Commons

2026.9月
開設予定



エントランススペース



スタディエリア

自己の学びを成長させる日

2026年度より新カリキュラムを導入

Self-Development Day

山梨英和中学校・高等学校では2026年度より、毎週水曜日に、通常の授業とは異なるスタイルで行う「Self-Development Day(自己の学びを成長させる日)」を実施します。本校の校訓である「自修」を体現する日であり、自らの意思で学ぶ、自律的な学習者の育成を目標としています。

中学生のプログラム

午前

国語・数学・英語の3教科を強化するプログラムとして、個別最適化された自律的な学習に取り組みます。すべての学びの基礎となるこれらの教科を、さまざまなアプローチを用いて深めていきます。

午後

探究的な学びを実施します。「てつがく対話」や論理的思考力の育成を通じて、学習に必要な対話力や論理的な姿勢を養います。さらに、1DAYスタディツアーなどの体験活動や、多様な分野の専門家を招いた講演会や対話活動を通じて、知的好奇心や探究心を育てます。

高校生のプログラム

高校
1年生

中学生と同様に「てつがく対話」と論理的思考力の育成に加え、国語・数学・英語の3教科の強化プログラムを実施します。県内外の大学と教育連携を行い、SDGsワークショップに参加したり、様々な大学の出前講義を受講します。大学の先生方に指導して頂きながら、探究的な学びのスキルを磨いていきます。

高校
2年生

理系・文系・英語系といった関心分野ごとに分かれ、教科横断的な学びをより発展させます。さらに、これまでの学びを土台に、興味のあるテーマごとにグループで探究活動を進め、主体的な学びを深めます。

Self-Development Day 自己の学びを成長させる日

中学1年生の時間割の例

	授業時間	月	火	水	木	金
	8:25 ~ 8:40			朝の礼拝		
1	8:50 ~ 9:35	英語	地理	SDJ SDM SDE	国語	英語
2	9:40 ~ 10:25	理科	国語		理科	国語
3	10:35 ~ 11:20	地理	保体		英語	数学
4	11:25 ~ 12:10	聖書	数学		数学	音楽
	12:10 ~ 12:50	昼休み		昼休み	昼休み	
5	12:50 ~ 13:35	国語	英語	探究	家庭科	理科
6	13:40 ~ 14:25	保体	美術	探究	保体	地理
7	14:35 ~ 15:20	数学	LHR	清掃・終礼	音楽/英語	家庭科
	15:20 ~ 15:50	清掃・終礼			清掃・終礼	

SDJ : Self Development Japanese(国語) SDM : Self Development Math(数学) SDE : Self Development English(英語)

2024年度 卒業生進路状況

進路先

卒業生数	進学者数 82 (進学率 93.2%)					就職	その他
	四年制大短	大専	専門学	校専門職大	学大校		
88	76 (86.4%)	2 (2.3%)	3 (3.4%)	1 (1.1%)	0 (0.0%)	2 (2.3%)	4 (4.5%)

学部・学科系統別進路先

() 内は卒業生数に対する割合

進学者数	人文科学系	社会科学系	自然科学系	融合分野				
				総合・学際系	家政系	教育系	芸術系	医療・保健系
82	26 (31.7%)	13 (15.9%)	7 (8.5%)	8 (9.8%)	6 (7.3%)	2 (2.4%)	8 (9.8%)	12 (14.6%)

2024年度 卒業生進路状況【通信制課程】

() 内は進学者数に対する割合

進路先

卒業生数	進学者数 6 (進学率 54.6%)					就職	その他
	四年制大短	大専	専門学	校専門職大	学大校		
11	6 (54.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (9.0%)	4 (36.4%)

学部・学科系統別進路先

() 内は卒業生数に対する割合

進学者数	人文科学系	社会科学系	自然科学系	融合分野				
				総合・学際系	家政系	教育系	芸術系	医療・保健系
6	6 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

() 内は進学者数に対する割合

カートメルこども園

新しい歩みを、共に

2024年9月末、神様から祝福を受け多くの方々に支えて頂き、新園舎の献堂式が執り行われました。10月からは、木の温もりを感じる新園舎での新しい歩みが始まりました。新園舎での保育環境がより良い育ちに繋がるよう、職員同士が意見交換を行い知恵を出し合いながら、教育保育に携わっています。



ステンドグラスのイエスさまに見守られて

プレストン、ダグラス両こども園にもあるように、ピオトープの整備も進んでいます。まだ未完成ですが、子どもたちが神様からいただいた豊かな自然に触れながら主体的に遊べる環境、自然の美しさや厳しさを経験できる大切な場所として、これからも充実させていきたいと思っています。園舎南側には旧園舎時代の木々がそのまま残っていて、小さな遊びのスペースとなっています。春先には地面に蒔かれていたクローバーの種が一齐に芽吹き、緑の絨毯のようになって、四つ葉のクローバーをさがして押し葉のペンダントにしたり、シロツメクサの花をかんむりにして毎日楽しんでいます。新しく入園してきたお友だちに、四つ葉のクローバーをプレゼントする！と言って一生懸命探している姿や降園時まで大切にしておいてお母様にプレゼントしている姿を見ると、純粋な子どもたちの優しい心に聖書の中のイエス様の姿を見ます。キリス



四つ葉のクローバーあるかな

ト教保育連盟の2025年度の年主題は「ともに」です。新しい園舎で大人も子どもも「ともに」育ち合えるような環境を作りながら、園が誰にでも開かれた場所になるよう取り組んでいきたいと思っています。

ダグラスこども園

小さな命がきらめく場所“ピオトープ”

4月、園舎北側にあるピオトープに水が入りました。そこに旧園舎から大切に育ててきたメダカを子どもたちと一緒に移すことにしました。メダカたちが新しい場所に慣れていくことができるように、子どもたちと考え合い、水草を入れ、少しずつ水温に慣らしてから、ピオトープへ。泳ぎ出すメダカたちをドキドキしながら、見守り、応援する子どもたちの姿がありました。

これからこのピオトープや田んぼ、畑が小さな生きものや子どもたちとの出会いの場所、そして、たくさんの不思議や発見があふれる場所となるように、子どもたちとともにこれからの変化を楽しんでいきたいです。



ピオトープ“元気にのびのび泳いでね”

みんなで野菜を育てたい!

「みんなで何か育てて食べたい」ばら・かえで組の子どもたちの声から、今年も新しい畑やプランターで野菜を育てることになりました。どんなものを育てるか、意見を出し合い、育てる野菜や果物が決まりました。それから子どもたちとお店に行き、お店の方に育て方や苗や種の種類を教してもらい、目を輝かせながらお話を聞いていました。みんなで草取りをして、腐葉土を混ぜて、みんなで土づくり！「ふかふかの土だと大きくなるかな?」「たのしみだね」など友だちと話しながら、準備をしていました。雨、土、太陽の光を下さる神さまの恵みを感じながら、生長を見守っていききたいです。



土づくり “ふかふかの土になあれ”



苗うえ “大きいともろこしできるかな”

プレストンこども園

イースター礼拝

♪ くさのめ きのめがめをさまし ぼっかり おかお だしました
うたいましょ～ いわいましょ～ うれしい うれしい イースター
♪ (こどもさんびか 87 番) 子どもたちの大好きなイースターの讃美歌です。4月18日(金)、山梨英和プレストンこども園では、イースターの礼拝を合同で守り、イエスさまの復活を喜び合いました。お気に入りの讃美歌を歌い、イエスさまの復活の話に目を輝かせて興味深く聞く子どもたちの様子に、私たちもイエスさまの復活の喜びを感じさせられました。



イースターエッグを見つけたところ

礼拝の後、園庭でイースターエッグ探しをしました。芝生の中や、木の陰に隠れているカラフルなイースターエッグを見つけ、大喜びの子ども達！嬉しいイースターのお祝いの時となりました。これからも、イエスさまが、私達のためによみがえられたことを覚え、感謝して歩いていきたいと思います。

父母の会造園部活動

山梨英和プレストンこども園保育部の園庭にあるビオトープと菜園は、17年ほど前に卒園生の父母の方たちが中心となって整備が進められました。以来、子どもたちは、植物、昆虫、水辺の生き物など自然を身近に感じながら四季を通じて楽しく過ごしています。また、父母の会も造園サークルとして、保護者同士でいろいろな情報交換をしながら土いじりをし、季節ごとに野菜や花を育ててくださる活動がずっと続いてきました。神さまからの豊かな自然に直接触れ、心が安定する時が与えられていることに感謝しながら過ごす日々です。



父母の会造園サークルによる花の手入れの様子

「子育て支援プログラム」のご案内

どなたでも参加できる「子育て支援プログラム」を開催しています。
詳しくは各園までお問い合わせください。

■お問い合わせ先

山梨英和カートメルこども園(甲府市)
TEL : 055-241-2801

山梨英和ダグラスこども園(韮崎市)
TEL : 0551-22-0707

山梨英和プレストンこども園(笛吹市)
TEL : 055-262-3880

同窓会通信

中学・高校

同窓生の皆さまと共に

本会の目的は、「母校の建学の精神にもとづき、会員相互の親交と教養を深め、母校の発展に寄与すること」であります。現在は、友愛、事業、広報通信の3部が、多くの同窓生の皆さまの献身的なご奉仕とお支えにより活動しています。「敬神・愛人・自修」の校訓のもと、共に学んだ6年間あるいは3年間の英和での生活が、一人一人にとって本当にかけがえのないものであったことを、135年を越えて今日まで続く同窓会の活動から感じることが出来ます。まさに「英和愛」「英和力」であります。

しかし、長年同窓会活動を中心的に支えてくださっている先輩の皆さまの高齢化、仕事、子育て、介護などで若い会員の同窓会への参画が少ないこと、新入会員(母校卒業生)の減少などの課題もあります。

少子化のなか、母校は入学者の減少という困難をかかえていますが、昨年度就任された森島校長先生を先頭に、教育の今日的な要請を見極め時代の先を読みながら魅力ある教育に取り組んでいます。新しい年度も、多くの同窓生の皆さまと共に同窓会活動をすすめていきたいと考えております。



2025年度活動計画

定期総会	5月17日(土)
花の日	5月27日(火)
東京支部総会	6月14日(土)
学園祭参加	6月28日(土)
秋のつどい	10月2日(木)
バザー	11月6日(木)
同窓会クリスマス	12月11日(木)
新入会員受入式	2月27日(金)
クラス委員会	7月 11月 3月
同窓通信	132号・133号

評議員	河田 節子
-----	-------

2025年度役員

会長	岡田 恭子	東京支部長	佐藤 福子
副会長	輿水希代子	会計監査	福田 令子
副会長	小清水由香	会計監査	井尻真理子
副会長	平井 ゆみ	事務局長	藤本 紀子
友愛部長	中島 雅子	事務局	荻野伊津子
事業部長	志村理部香	事務局	千塚 美鈴
広報通信部長	古屋 知子		

同窓会事務局は、月・木(午前10時から午後4時)に開いています。
電話・FAX 055-253-7991
Eメールアドレス eiwadosojsh@yahoo.co.jp

大学・短大

母校に馳せる心

まだ花冷えのする4月2日に新学長に就任された塚本俊也学長のもと、入学式が挙行され139名の新入生をお迎えすることができました。4月は、学内も賑わいを増し、同窓会室から見える学生たちの楽しそうな姿に、執行部一同心を込めて母校のために活動する決意を新たにいたしました。

大学ではハラスメント問題が起こり、学生・卒業生・教職員の皆さま心を痛められたことと思います。同窓生として大学に想う気持ちは、すべての大学関係者が安心して学びに研究に専念でき、働くことができる環境づくりに力を注いでいただき、真の学び舎の創造に邁進していただきたいと思います。

同窓会では、新入会員166名を加え総勢15,459名の会員となっております。そのお一人おひとりに母校の様子をお伝えできる会報「楓」作り、魅力を感じられるようなホームページに力を入れてまいりたいと思っています。

母校が置かれております厳しい状況を思いますと、同窓会としても、祈りをもって母校を支え、充実した同窓会活動をしていきたいと考えております。同窓生の皆様の更なるご支援を宜しくお願い致します。



2025年度活動計画

入学式	4月2日(水)
会計監査	4月15日(火)
定例役員会	8月を除く全11回
歴代会長・学年代表委員会	4月22日(火)
第49回同窓会定期総会	5月31日(土)
オープンキャンパス協力	6月
歴代会長・学年代表委員会	10月
会報「楓」発送	10月
紅楓祭ピング大会協力	11月
クリスマスツリー点火祭協力	11月25日(火)
新入会員受け入れ式	3月12日(木)
学位記授与式出席	3月13日(金)

評議員	平井 ゆみ
-----	-------

2025年度役員

会長	平井 ゆみ	会計監査	樋川 陽子
副会長	涌井 由紀	会計監査	岩下 摩紀
副会長	千塚 美鈴	事務局	宮村 美雪
		事務局	近藤 春美

同窓会事務局は、火・金(午前10時から午後3時)に開いています。
電話・FAX 055-231-2299
Eメールアドレス info@eiwadoso.com

聖書のことば

中学校・高等学校 宗教主任 宍戸 尚子

「だれも、悪をもって悪に報いることのないように気をつけなさい。
お互いの間でも、すべての人に対しても、いつも善を行うよう努めなさい。」

(テサロニケの信徒への手紙一 5章 15節)

“目には目を”、“やられたらやり返せ”という教えは私たちの身近にありますし、“対話ではなく圧力を”と迷いなく言い切る為政者もいます。“被害を受けたらやり返しても当然”、という風潮は今も昔も珍しくないものだと思います。そうした中で、パウロはテサロニケ教会の人たちに語ります。「だれも、悪をもって悪に報いることのないように。」さらに、積極的に悪を返さなければいか、お互いの間でも、すべての人に対しても、いつも善を行うよう」努力するようにと勧めています。原文では“善(善いもの)を追いかけなさい”となっています。

善とは何でしょうか？ 人によって違うかもしれません。パウロがここで語る「善」、私たちが追い求める良いもの、究極の良いお方。それは、イエス・キリストという方です。世界にどれほど善なる、完全な、正しいものがあるとしても、キリストほど正しく、完全で、すべての人にとっての善なる存在はありません。この方は神であり、神の子であられるからです。

しかしまた自分自身がどれほどこの善なるお方から遠く離れており、またこの方を追い求めることの少ない者かということも思います。「わたしはなんと惨めな人間なのでしょう。死に定められたこの体から、だれがわたしを救ってくださるでしょうか」(ローマの信徒への手紙 7章 24節)というパウロの嘆きは、私たちの嘆きでもあります。人間関係に破れをもち、自分を受け入れることができず、罪の中に、また死の恐れの中に沈み込んでしまう私たちです。

けれどもこの私たちに目をとめてくださり、選び、愛して下さった神がおられます。このお方は御自分の独り子イエス・キリストを十字架におかけになり、私たちの罪と死を滅ぼしてくださいました。私たちの惨めな罪はすべて滅ぼされ、主イエスは死に勝利されて復活されました。罪ゆるされ、新しい命をいただいている私たちです。主イエス・キリストに結び付けられて、「お互いの間でも、すべての人に対しても」いつも善を追い求めることができるように既に変えられている私たちです。

山梨英和の歴史を築いた人々

—山梨英和学院 136年の歴史を築いた人々をシリーズで紹介しませ—

NO. 3 第3代・第5代 校長 E・A・プレストン

カナダ・メソジスト婦人宣教協会(WMS)から「甲府」へ派遣を命ぜられたプレストンは、23歳の1889年6月にウイントミュート初代校長の支援のため、山梨英和女学校に赴任した。同年11月2日に挙行された入学式の写真の左端に写っている。彼女の赴任について、山梨英和女学校の宣伝のため、同年12月に山梨日日新聞へ広告を出した。その広告にプレストンが紹介されており、記者の耳には「クレストン」と聞こえたようである。

プレストンは、カナダ・オンタリオ州の牧師の一人娘として1866年に誕生した。そして、技術学校や師範学校を卒業して、図画・音楽・手芸などを学び、2年間カナダで教師として教鞭を執る中で、インドから戻った宣教師の話聞き、宣教の地としてインドを志願したがWMSから日本に派遣された。

山梨英和では英語と手芸を担当した。当時山梨女子師範で英語の授業が廃止されたので、山梨英和の英語教育はますます高く評価される様になりウイントミュート校長とプレストンとの二人の存在は大きかった。特に一般家庭ではピアノも買えない状況下で、プレストンの得意技であるオルガン演奏は貴重であった。

また、プレストン校長時代には学校で奉仕活動も盛んとなった。一つは、「禁酒会」活動であった。家庭が貧しい子どもは冬でも足袋を履くことができない。その理由に親の飲酒がある事がわかり、生徒達は「禁酒会」をつくって取り組んでいた。もう一つの奉仕活動が今に続く「花の日」で

ある。プレストンは、病人、老人にお花を持って訪問し、聖書を読み慰め、励ます活動を始めた。

プレストンは教科書だけの教育ではなく隣人のため、社会のために役立つ教育を推進した。

第5代校長時代には、第3代校長時代に招へいた山田弘道(国語科)と共に校歌の作成や同窓会報を発行した。

プレストン校長時代の卒業生には、県内で有名な小宮山清三の妻(いほ)・浅川伯教の妻(たか代)らがあり、宣教師である彼女達を見習って勉学に励み、多方面に亘り活躍した。宣教師であり、また校長でもあったプレストンの功績は顕著なものがあ、近代女性の育成に多大な影響を与えたといっても過言ではない。

なお、プレストンが甲府にいた滞在期間は、途中休暇でカナダに帰った年もあったが、17年間という長期に亘って山梨英和を支えてくださったことを最後に付け加えておきたい。



1889(明治22)年開講



生徒募集広告

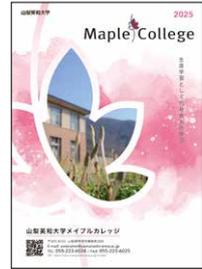
(山梨英和中学校・高等学校 元教諭 深沢美恵子)

地域と社会に開かれた生涯学習へのご案内

地域連携部 部長 井上 征剛 副学長

山梨英和大学メイプルカレッジは、短期大学時代以来の研究・教育の伝統を基盤に、20年以上にわたって展開されてきた、県内随一の生涯学習プログラムです。ぜひ、皆さまの日々の生活を豊かにするため、あるいは新しい世界へと足を踏み出す入口として、山梨英和大学メイプルカレッジをご活用ください。

メイプルカレッジプログラム▶



- **メイプルカレッジ講座** 「文学・文化・芸術」「人間・心理・社会」「環境・自然・健康」「キャリア・資格・特技」の4群にわたるバラエティ豊かな講座を、1年をとおして、**30講座**設けています。
- **自治体等との連携講座** 連携協定を結ぶ自治体、山梨英和短期大学・大学同窓会等との連携講座を実施しています。
- **特別開放講義** 山梨英和大学人間文化学部カリキュラムの中から、正規科目を開放しています。

10月からの講座のご紹介

モチベーションの心理学 曜日・時間 水曜日 19:00~20:30 受講料 4,500円

- 第1回 10/22 (水) 原因 (の思い込み) によって変わるモチベーション
- 第2回 11/ 5 (水) 手応えによって変わるモチベーション
- 第3回 11/19 (水) 幸福感につながるモチベーション

講師 佐柳 信男 山梨英和大学・大学院教授。博士 (教育学)。専門はモチベーションや子育て支援。



富士山噴火について 曜日・時間 火曜日 13:30~15:00 受講料 1,500円

11/18 (火) 富士山噴火について

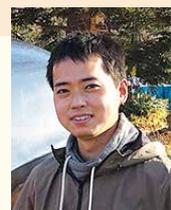
講師 藤井 敏嗣 山梨県富士山科学研究所所長。東京大学名誉教授。東京大学理学系研究科博士課程修了。理学博士。専門はマグマ学、火山学。東京大学地震研究所教授、東京大学理事・副学長などを経て現職。著書に「火山：地球の脈動と人との関わり」など。



国蝶オオムラサキが棲む山梨の里山環境 曜日・時間 土曜日 13:00~14:30 受講料 3,000円

- 第1回 10/18 (土) オオムラサキと里山の自然
- 第2回 10/25 (土) 水生昆虫と里山の水辺環境

講師 富樫 和孝 北杜市オオムラサキセンター館長。東海大学大学院人間環境学研究科を卒業。専門は水生甲虫の分布と生態の解明で、山梨県と長野県を中心に活動。昆虫館を拠点とした自然教育も積極的に行う。



■その他予定講座

「キリスト教と人間文化学」 / 「～ Media English ～ メディア英語」 / 「縄文から現代へ～日本文化の源流を探る」 / 「コミュニケーションのスキルアップ～トーク&スピーチ～」 / 「ステンドグラス クリスマスオーナメント」 / 「自然素材でつくるクリスマスリース」 ほか

受講料の割引

山梨英和中学校・高等学校 生徒、山梨英和大学 大学生・大学院生 **無料**
本学院の園児・中高生・大学生の保護者、教職員 **2割引**
山梨英和短期大学・大学の卒業生 **2割引**
メイプルメイト **1割引 (入会料1,000円)**

ご活用ください!

お申込み
お問合せ

山梨英和大学 メイプルカレッジ事務局

☎ 055-223-6034 ☒ extension@yamanashi-eiwa.ac.jp

REPORT

2025年5月31日

山梨英和短期大学・大学同窓会との連携講座に、千葉俊二先生を講師としてお招きしました。山梨英和での思い出や谷崎潤一郎の文学の魅力をお話くださいました。多くの方に受講いただきありがとうございました。



山梨英和教育フォーラム

～サンリオエンターテイメント社長 小巻亜矢氏をお迎えして～

2025年5月31日(土)に株式会社サンリオエンターテイメント代表取締役社長、サンリオピューロランド館長の小巻亜矢氏をお迎えし、山梨英和中学校・高等学校グリーンバンクチャペルに於いて「山梨英和教育フォーラム」を開催しました。小巻氏は本校と姉妹校である東洋英和女学院をご卒業されており、今回そのご縁で、講演者としてお越しく下さいました。当日は、「21世紀のグローバル世界で活躍する自立した女性について」と題して、東洋英和女学院で過ごした生徒時代を振り返りながら、その後の子育てにおける躓きや後悔などを語ってくださり、共感を覚える参加者の方々が涙する場面も見られました。さらに、その子育ての経験が、東京大学大学院にて心理学を学ぶきっかけになったことにも触れ、「相手に対してまずは『イエス』で受け止める、決して否定しない、そして相手の考えや価値観を尊重することが子育てや人材育成に役立っている。」とアドバイスして下さいました。また、日本語の「かわいい」は今や海外でも通じる共通語であり、その物事をかわいいと捉える感性は、日本の女性が海外で活躍する時の強みとなるとお話しされ、成功裏に講演を終えました。

なお、今後も各界でご活躍されている本学関係者を招いて講演会などの開催を企画して参ります。



人事

2024年度

退任
 小野 興子 (理事長)
 朴 憲郁 (学長)
 石川 健 (園長)
 古屋 秀樹 (事務局長)

就任 江口 英雄 (理事長)

定年退職
 大学 小菅 健一 (人間文化学部 教授)
 宮川 仁 (進路部 次長)

2025年度

就任
 塚本 俊也 (学長)
 三井 貴子 (園長)
 三浦 一秋 (事務局長)

新規採用
 大学 杉浦 篤志 (人間文化学部 准教授)
 小田友理恵 (人間文化学部 助教)
 中学校・高等学校 南部 敦士 (保健体育科 期間採用教諭)
 渡邊 展大 (事務部 次長代理)
 法人本部 武藤 国雄 (総務部 部長)
 古屋 透 (経理部 部長)

2025年度役員名簿

理事

江口 英雄 (理事長) 大木 正人 (院長)
 塚本 俊也 (学長) 森島 泰則 (校長)
 三井 貴子 (園長) 三浦 一秋 (事務局長)
 野々垣健五 (常務理事) 仙波 憲一
 星野 真理 小菅 隼人

監事

岡田 恭子 桃井 明男

評議員

西川 良三 若尾真由美 堀内 栄子
 佐柳 信男 河田 節子 平井 ゆみ
 芦澤 薫 飯島 正敏 上原 勇七
 小野 祥子 輿水 順雄 鈴木 信行
 関 光良 奈良田伸司 堀内 正基
 森 和博

主な行事予定

2025年8月～2026年3月

●大学

紅楓祭 11月1日(土)・2日(日)
 クリスマスツリー点火祭 11月25日(火)
 クリスマス礼拝 12月12日(金)
 卒業礼拝 3月12日(木)
 卒業式(学位記授与式) 3月13日(金)

●中学校・高等学校

グリーンバンク杯 11月20日(木)
 クリスマスツリー点火式 11月21日(金)
 クリスマス礼拝 12月24日(水)
 卒業礼拝 2月27日(金)
 高等学校卒業式 3月2日(月)
 中学校卒業式 3月19日(木)

●認定こども園

スポーツデー カートメル 10月18日(土)
 ダグラス 9月13日(土)
 プレストン 10月11日(土)
 クリスマス礼拝 カートメル 12月18日(木)
 ダグラス 12月19日(金)
 プレストン 12月17日(水)
 卒園式 カートメル 3月20日(金)
 ダグラス 3月18日(水)
 プレストン 3月18日(水)

●法人本部

教職員クリスマス礼拝 12月6日(土)

「個人情報の保護に関するお知らせ」

2005年4月から「個人情報の保護に関する法律」が施行されました。山梨英和学院は、同法、文部科学省の指針等を遵守し、収集した情報を厳重に管理します。なお、学生・生徒・園児の表情やキャンパス等の様子を紙面で伝えるために、行事等の写真を掲載することをご理解くださいますようお願い申し上げます。

住所・氏名の変更、発送停止をご希望の方は
 こちらのフォームから申請をお願いいたします。▶▶



「山梨英和旧宣教師館」未来プロジェクト ～これからも道は創られていく～



1950（昭和25）年新築の宣教師館

宣教師館の沿革

1945年7月7日に甲府市内でいわゆる七夕空襲があり、当時の山梨栄和女学校（1958（昭和33）年校名は「山梨英和中学校・高等学校」となる）の校舎他、すべてが焼け野原となりました。それまで、宣教師たちはカナダに強制送還されていましたが、1947（昭和22）年グリーンバンク宣教師等が帰校しました。その時には、まだ校舎のみが建てられただけであったため、共同住宅が必要になったことから、1950年にヴォーリズ建築事務所による設計で山梨県内唯一の宣教師館を甲府市宮前町に建築しました。

ヴォーリズ建築事務所の創設者であるアメリカ合衆国生まれのウィリアム・メル・ヴォーリズは、1905年にYMCA派遣の英語教師として来日し、1964年に83歳の生涯を終えるまで、キリスト教の伝道、学校教育、医療及び建築家等として多方面に亘り活躍をしました。ヴォーリズ作品の特徴は、戦前のスパニッシュ・スタイルに代表される欧風でアーチを持つ形状が多かったのですが、戦後になるとアーチを持たず、質実な外観に変化し、本学院の宣教師館もその時代の典型的な外観を保持しています。また、宣教師館の両サイド及び正面中央の3本の煙突や地下の洗濯室等アメリカ様式の住宅要素を取り入れたり、暖炉がある建築形態が魅力です。また学生寮として利用した際に建物西側に別棟を増築したため、建築当初の格子窓は引き違いサッシになり、破風の先端のデザインも一部変えられていますが、ほぼ当時の姿を保っています。

宣教師館は、4名の宣教師、北原とし子教諭、中学3年生等が一時的に居住し、1979年から2003年まで上述のとおり学校寮として生徒が使用してきたという変遷を辿ってきました。しかしながら、建築から半世紀を過ぎ、建物の老朽化が進んだこと等から2009年に学校寮としての役目を終え、以来16年間無人となり現在まで使用されておりません。



カナダ宣教師 1950年頃
MISS WEBSTER, MISS GREENBANK
MISS ROSE, MISS SUTTIE（左から）

宣教師館改修後の利活用

136年に亘る山梨英和の教育は、宣教師たちによって形作られ、守られてきました。根底は同じキリスト教信仰であっても、初期のプレストン・ロバートソン時代のメソジストらしい、メソッド、約束や規則を守る教育から、戦後、再来日したグリーンバンクとダグラス等を中心とした「個人の賜物」を重んじる教育へと、時代と共にバトンが渡され、その教育は今に至るまで山梨英和に脈々と受け継がれているのです。

それまでの宣教師たちの宿舎は学校の建物の中にあり、戦後はじめて学校外に建てられた宣教師館が上述の1950年に建築された宣教師館です。また同年代のカナダ合同教会(U.C.C.)のためのヴォーリス作品としては、金沢市の清泉幼稚園、同職員住宅が知られていますが現存せず、空襲で焼けなかった東洋英和にも宣教師館は残っていないため、本学院の宣教師館は稀有であると言えます。

ヴォーリス建築様式の現存実例が希少であり建築物の価値として貴重であること等を踏まえ、2025年5月に開催した理事会・評議員会で改修工事を実施することを決定しました。当時の宣教師たちが生徒への教授以外に「みどり会」、「葡萄の枝の会」、「近所会」及び「教会の支援」等を展開し、宣教師館を積極的に地域へ開放してきたように、改修後の宣教師館においてもその精神を受け継ぐため、本学院の同窓生、旧教職員をメンバーとするNPO法人を設立して、次のとおり管理・運営を任せると目指すものとします。今後、本事業を進めるにあたり山梨英和学院に連なるすべてのステークホルダーにご支援を求めて参りたいと存じます。何卒、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

1. 周囲のブロック塀を撤去し、街並みと一体化させる。
2. 山梨英和学院の歴史と文化を尊重する存在としてアピールする。
3. 山梨英和認定こども園及び中学校・高等学校並びに大学と地域の方々を繋ぐような事業として、施設の貸出、学校教育の補完、カルチャー教室等を展開する。
4. 甲府市太田町公園内にある「甲府市名誉市民グリーンバンク碑」を敷地内に移設する。
5. 改修後、登録有形文化財への申請を目指す。

山梨英和旧宣教師館 ×



一人ひとりの小さなご支援が、
大きな力に！

クラウドファンディングページから
活動の様子も発信していきます。

サポーター登録をお願いします！

<https://yellz.jp/detail/190045/project/305/>



学校専用クラウドファンディング「Yellz」上で寄付を実施いたします。

